

災害への備えは万全ですか？

近年、気候変動などの影響により、集中豪雨や台風増加による災害が頻発しています。このような降雨の増加傾向は今後も続くと思われます。

自然災害が発生すると、人間の力ではどうすることもできないときがあります。しかし、皆さんが予防対策をとることで被害を減らすこともできます。被害を最小限に抑えるには、一人ひとりがあわてずに適切な行動をしなければなりません。そのためには、皆さんが、いざというときに落ち着いて行動することができるよう、日ごろから防災の正しい知識を身につけておくことが大切です。



▲梅雨に備えて行われた水防訓練
(5月17日、宝満川大板井橋下流域)

集中豪雨に備えよう

発生メカニズム

豪雨が発生しやすいのは、梅雨の終わりと前線が停滞しているときです。

また、台風が接近、または上陸していると前線を刺激して激しい雨を降らせ、南から温かく湿った空気が流れ込み、大気不安定になるためです。

集中豪雨が起きると

短期間のうちに狭い地域で集中して降る雨・集中豪雨は、突発的に降ることが多く、予測は大変困難です。周辺に比べて低い土地への浸水、河川の氾濫や土砂崩れ、がけ崩れなど、大きな被害を生むことがあります。がけ附近や丘陵の造成地、レジャーなどで山間部の河川にいる場合は、気象情報に十分注意しましょう。

洪水の中はこうして避難

- 歩ける深さは、男性で約70cm、女性で約50cm、水深が腰まであるようなら無理をせずに、高所で救助を待つ。
- お年寄りや身体の不自由な人などは背負い、幼児は浮き袋、乳児はベビーバスを利用して安全を確保し避難を。
- 洪水のときは地形が一変し、道路は川のようにになります。水面下にはどんな危険が潜んでいるかわかりませんので、長い棒を杖代わりにし安全を確保しながら歩く。
- はぐれないようお互いの体をロープで結んで避難を。特に子どもから目を離さないようにしましょう。

裸足や長靴ではなく、運動靴で避難を。

台風に備えよう

台風時には、風でさまざまなものが飛んでぶつかったり、倒れたりすることで事故が起きることがあります。台風が来る前に対策を立てましょう。外壁の補強などを日ごろから行うようにしましょう。また、台風が中心が通過した後の吹き戻しにも注意してください。

台風が来る前に

- 窓や雨戸はしっかり鍵をかけ、必要ならば外から板を打ち付けて補強する。
- ガラス窓には割れたときの飛散を防ぐため、テープを貼ったりする。また、外からの飛来物の飛び込みに備えてカーテンやブラインドをおろしておく。
- 雨どいや側溝のごみや土砂など掃除し、水はけをよくしておきましょう。
- 風で飛ばされそうな物は飛ばされないように固定する。
- 次のような非常品をまとめて、持出袋などに入れておく。
懐中電灯、ろうそく、マッチ・ライター、携帯ラジオ、予備の乾電池、救急薬品、衣類、貴重品、非常用食料、手袋(軍手)、ヘルメット、飲料水、運動靴など
- 断水に備えて飲料水を確保する。浴槽に水を張るなどしてトイレなどの生活用水を確保する。また、長期停電のため、冷蔵庫内の食料が悪くなるおそれもあるので、水や食料品の備えは十分しておく。

知ってて便利。予報用語

＜1時間の雨量と降り方＞

1時間の雨量	雨の降り方
10～20ミリ	ザーザーと降り、雨音で話し声がよく聞こえない。
20～30ミリ	どしゃ降り、側溝や下水、小さな川があふれる。
30～50ミリ	バケツをひっくり返したように降り、道路は川のようになる。
50～80ミリ	滝のように降り、土石流が起りやすい。車の運転は危険。
80ミリ以上	雨による大規模な災害発生の危険あり、厳重な警戒が必要

(気象庁による)

＜風速と被害＞

風速	被害
10～15m/s	傘がさせない
15～20m/s	風に向かって歩けない
20～25m/s	しっかり身体を確保しないと転ぶ
25～30m/s	立ってられない。ブロック塀が壊れる。
30m/s～	屋根が飛ばされたり、木造住宅が壊れる

(気象庁による)

避難所一覧				
災害種別	避難場所	電話番号	収容人員	住 所
災害	のぞみが丘小学校		430	希みが丘 5-2-17
台風	のぞみがおか生楽館	75-6607	100	希みが丘 5-2-17
災害	三国中学校		530	美鈴が丘 5-15-1
災害	小郡高等学校		720	三沢5128-1
台風 災害	三国校区公民館	75-3392	130	三沢4196-1
災害	三国小学校		430	力武1012
台風 災害	東野小学校		390	小郡2409-4
台風 災害	東野校区公民館	75-7066	270	三沢83-1
災害	大原小学校		390	大保1394
台風 災害	大原中学校		610	小郡772
台風 災害	小郡市生涯学習センター	73-2084	500	大板井1180-1
災害	小郡小学校		480	小坂井288
台風	大崎教育集会所	72-9738	75	稲吉1338-8
災害	小郡中学校		480	寺福童668
台風	小郡交流センター (旧老人福祉センター)	72-2846	150	寺福童859-51
台風 災害	立石校区公民館	73-2768	130	干潟2056-1
災害	立石小学校		420	吹上968-2
災害	立石中学校		430	吹上1045
災害	三井高等学校		590	松崎652
台風	市民館	72-8190	80	下岩田2108-3
台風 災害	御原校区公民館	72-9038	130	稲吉437-11
台風	二夕集会所	73-4393	60	二夕1451
災害	御原小学校		300	二夕316
災害	宝城中学校		450	八坂26-1
災害	味坂小学校		300	八坂456-1
台風 災害	味坂校区公民館	73-3858	130	下西鰯坂253-1

災害種別について 災害：地震や水害など大規模災害時の避難場所
 台風：台風時の避難場所
 台風・災害：災害、台風時の避難場所

災害情報 ホームページアドレス	
ホームページ	アドレス
福岡管区气象台	http://www.fukuoka-jma.go.jp
国土交通省 (川の防災情報)	http://www.river.go.jp/ (携帯版 http://i.river.go.jp/)
福岡河川防災情報	http://www.kasen.pref.fukuoka.lg.jp/bousai/
小 郡 市	http://www.city.ogori.fukuoka.jp/

いざという時にどうするか
 避難のタイミングを逃がすことで、被害に遭うことが少なくありません。
 風水害の場合は、「このままでは危険だ」ということになり、いざ避難を開始するときには、もはや外は腰まで水につかるような、移動には危険な状態になっていることがあります。警報の変化など、情報には敏感に対応し、早めに移動することが大切です。

情報を集める的確な判断を
 風水害は、風や雨など自然現象が原因で起こる災害のため、予測が立てにくく、完全には防ぎにくいという問題があります。しかし、有益な情報を集めることで、危険を回避できるように準備し、被害を最小限にすることができます。

テレビやラジオの天気予報のほかに、電話でも地元の気象台が発表する情報を聞くことができます。福岡管区気象台の情報は、市外局番092に続けて177番です。
 ほかの地域の情報を知りたい場合は、市外局番・177番で、その地域の情報を聞くことができます。
 また、パソコンなどでも情報を得ることができます。福岡県のホームページ「防災」には、県が水位計(52カ所)雨量計(106カ所)の情報を掲載しています。また、これらの情報は、携帯電話からも確認できます。市内の分では、宝満川の端間橋の水位計の情報を見ることができます。
 また、大雨・洪水などの警報が出されたり、災害の発生が予想される場合は、市内のパトロールを実施します。また、災害が

発生する恐れがあるときは、避難情報を発表し、広報車などで避難を呼びかけます。
万が一に備えて日頃の準備を
 ○避難場所・避難経路を確認しましょう
 災害時には、家から一番近い避難所が使えない事態も考えられます。近い避難所を2箇所以上確認しておきましょう。また、避難経路の周囲に水路、側溝、段差などの危険箇所を確認しておきましょう。
 ○持出品はすぐに持ち出せるように
 持出品は日頃から準備し、置き場所を決めておきましょう。また、中身が使えるかどうかなどの確認、入れ替えを行いましょう。
 ○家族みんなで防災の話し合いを
 災害は突然襲ってきます。いざという時に、的確に、かつ敏速に動けるかどうかは、

事前の決定事項が左右します。つまり、日ごろから家族で防災の話し合いを行ない、災害時の行動や役割を決めておけば、肝心な時にあわてずに段取りよく行動できる可能性が高いのです。

避難時の心得
 ○不安を感じたら、早めの避難をしましょう。
 ○一人で行動せずに近所の人たち助け合いましょう
 ○荷物は必要最小限にし、出来るだけ両手を空けておきましょう。
 問い合わせ先 総務課防災・庶務係 ☎72・2111 内線244